

ことばの教室「自立活動」学習指導案

児童 2年 男子2名
指導者 (T1), (T2)

1 題材名 「考えて、伝えよう」

2 題材について

(1) 児童の実態

本時の児童は、同じクラスからことばの教室に通級している。A児は今年度から、発音の課題のため通級を開始している。B児は、ことばの教室に通級して2年目になる。

(詳しくは、分科会で配布の別紙資料参照)

(2) 設定の理由

ことばの教室で、保護者に「子どものいいところやことばの教室で取り組んでほしいことや伸ばしてほしいこと」についてのアンケートをとった。

(内容については、分科会で配布の別紙資料参照)

A児には、場に応じた話し方ができるように、友だちの話をしっかり聞き、静かに待っている姿勢を身につけるなど具体的な声かけで支援する。B児には、自分の考えを自分の言葉で話したり、人の話を聞いたりして考えることができるように、経験や語彙を増やす指導を心がけたい。

4月からこれまで、2年生の国語、「かんさつ名人になろう」では、ミニトマトの実や花や葉っぱを色や形・大きさに着目しながら、五感を生かした観察をもとに、話したり書いたりする学習を行った。「ともさんはどこかな？」の学習では、迷子のアナウンスを聞きながら、当てはまる子を探したり、自分の言葉で迷子のアナウンスを考えてお互いに問題を出し合ったりする学習を行った。その中で、話す内容がまとまり、聞く姿勢も少しずつできるようになってきている。

また、「よく見て、伝えよう」の題材を通して、「これなあにクイズ」に取り組んだ。絵カードを見ながら、相手の質問に答える、説明を聞いて何のカードか考える、などの学習を行った。初めは、質問に対する答えを教師と一緒に考えて文に書き、クイズに取り組んだ。繰り返すうちに、質問の答えを、絵を見て、自分の知っていることばや経験したことを使いながら、答えることができるようになった。さらに、相手に分かりやすく伝えようとする姿勢もでてきた。「やってみよう勉強」では、簡単な「なぜなぜカード」を使いながら、読んで、考えて、答える活動も行った。国語の学習の「あったらいいなこんなもの」にも取り組み、楽しみながら自分の考えを表現することができた。

学級での学習や生活の様子を見ると、先生や友だちの話は聞いているものの、それぞれが自分のペースで反応することが多い。そのため、集団の活動のペースに合わせるということがむずかしい場面が見られる。

この題材では、その時自分だったらどんなふうに行動し、話すのか考え、伝えることができるように、学校や日常生活のいろいろな場面を紙芝居を手がかりに指導を行う。場に応じた行動や話し方ができるように、お互いの意見を聞き合い、繰り返し学習を積みたい。また、小グループの中で、様々な場面を経験させながらコミュニケーションの力や社会性を育て、集団の中でも活用していけるようにと考え、この題材を設定した。

この題材は、自立活動の「人間関係の形成」「コミュニケーション」に関わるものと考えられる。

自立活動の中の必要な項目(ゴシックは、本題材との関連のあるところ)

<A児>

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
/	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること	(3)自己の理解と行動の調整に関すること (4) 集団への参加の基礎になること	(2) 感覚や認知の特性への対応に関すること (5) 認知や行動の手がかりとなる、概念の形成に関すること	/	(2)言語の受容と表出に関すること。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること

<B児>

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
/	(3) 障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること	(3)自己の理解と行動の調整に関すること (4) 集団への参加の基礎になること	(2) 感覚や認知の特性への対応に関すること (5) 認知や行動の手がかりとなる、概念の形成に関すること	/	(3)言語の形成と活用に関すること (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること

(3) 指導にあたって

今回の題材では、紙芝居を通して、日常生活の様々な場面を想定し、自分の考えを表現したり、相手の考えを聞いたりすることを大切にしながら学習を進める。子どもたちにとって身近な話題を紙芝居として取り上げることで、今までの経験を活かして、どんな行動をしたり、話したりするかを考え、書くことがしやすくなると思った。

A児については、場の様子をイメージし、分かりやすい言葉でまとめさせる。

B児については、語彙や経験が少なく、ことばで説明するのは難しいところもあるため、教師と話し合っって考えをまとめさせる。

A児B児ともに、話をしっかり聞く、自分で考えて文に書く、話す、自分の考えと同じところ・違うところを考えて聞くなど、「聞く」「話す」「書く」「考える」の活動を取り入れる。

また、ふり返りの段階では、学習したことをもとに自分の生活と比べて考えることができるように声かけをする。

自分たちで考えたお話を学級でも紹介することを知らせ、目的意識、相手意識をもたせ、意欲的に取り組めるように、通常学級の担任とも連携して指導を進める。

《仮説1》個々のニーズに応じた個別の指導計画の作成、及び実践

- ・個のニーズに対応した題材を工夫することで、集中して話を聞き、自分の考えたことを伝えることができるであろう。

《仮説2》ペアやグループでの学習の場の工夫

- ・ペア学習の形態を組むことで、教師との1対1の学習とは違った、子ども同士の関わりや広がり展開できると考えた。また、ペア学習の中で相手意識を持つことで、友だちの話を聞く姿勢や、相手にわかるように伝える話し方ができるであろう。さらに、ペア学習の中での活動を通して、友だちと意見を話し合い、考えを広めたり、自分の考えと比べて聞いたりして、どんな行動や話をすればよいのか経験させることで、学級でも自分から友だちと関わるができるであろう。

3 題材のねらい

- ・話をしっかり聞き、場の状況や様子を理解することができる。
- ・自分の考えや思いを、相手に伝えることができる。

4 指導計画

9 時間 (本時4/9)

全体の指導時間	学習活動	支 援	時間数
1	オリエンテーション ・紙芝居を見て、学習の内容を知り、学習の計画を確認する。	・学習内容を理解できるようにするために、紙芝居の読み聞かせを行う。	1
2～6 本時 4/9	いろいろな場面ごとに、どうすればよいのか考える。 「こんなとき君だったらどうする？ でんでん丸くんに教えてあげよう」 ・朝のこと ・図書室でのこと ・給食時間のこと (本時) ・体育の時間のこと ・うれしいこと	・今日の場面でどうすればよいのか考えることができるように、紙芝居の絵を手がかりにして、学習を進める。	5
7	今まで学習したことをもとに、自分の生活と比べて考える。	・紙芝居を通して、自分が気を付けていきたいことに気づくように声かけをする。	1
8～9	まとめ ・紙芝居を学級みんなに紹介しよう。 役割分担をし、読み方の練習も行いながら、学級でも発表する。	・自分たちの考えを入れた紙芝居を、学級みんなに紹介するための準備をする。 ・役割分担をして練習を行いながら、意欲的に取り組ませるように声かけをする。 ・教師も一緒に学級に入り、交流し、2人のがんばりを知らせる。	2

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

- ・給食のお話の内容を理解することができる。
- ・でんでん丸くんに、自分の考えたことを伝えることができる。

(2) 研究とのかかわり

《仮説1》 ・学校生活の場面を設定することで、意欲的に学習に取り組めるであろう。

《仮説2》 ・ペア学習を通して楽しく活動することで、お互いの話をしっかり聞き、自分の考えも伝えることができるであろう。

(3) 展開

	学習活動		教師の支援		備考
	A児の活動	B児の活動	T1の支援 (A児と学習)	T2の支援 (B児と学習)	
は じ め 15 分 個 別	1 あいさつをする。 2 今日の学習の流れを確認する。 3 知らせたいことを伝える。 4 発音の学習 ・舌の緊張を取る練習 ・キ・ケ・リの聞き取り弁別（他者弁別）	1 あいさつをする。 2 今日の学習の流れを確認する。 3 知らせたいことを伝える。 4 ことばあそび	1 あいさつは、3の声、3の速さで言えるようにする。 2 カードを使って、今日の流れを確認する。 3 5時間目のことや知らせたいことを聞き取る。 4 舌の緊張を和らげるように促す。	1 ゆっくり、はっきり、語尾まで言えるように促す。 2 カードを使って、今日の流れを確認する。 3 5時間目の学習や知らせたいことを聞き取る。 4 集中して聞き、考えるように声がけをする。	カード プリント
な か 25 分	<ペア学習> 5 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 給食の時間について考えて、 でんでん丸くんにつたえよう。 </div> 6 でんでん丸くんの給食時間のこと (その3) (1) 紙芝居を聞く。 (2) 給食時間の様子を確かめる。		<ペア学習> ・前時の想起をさせ、本時の意欲につなげるようにする。 ・給食のお話の内容に気をつけて聞くことができるように、声がけをする。 ・給食場面が理解できるように、紙芝居の絵を手がかりに言うことができるようにする。		紙芝居
	(3) でんでん丸くんに言うことを考える。 ・自分だったら、どうするか？ ・なんとってあげるか？ (4) 自分の考えを話す。		・それぞれの考えをもつことができるように、教師と1対1で関わる。 ・自分の考えを、自分のことばで話させるように声がけを多くして励ます。 ・A児は、自分の考えをメモにとる。 ・B児には、教師がメモを取る。		学習シート

<p>ペ ア ・ 個 別</p>	<p>(5) 自分の考えを発表する。</p> <p>(6) 友だちの考えを聞いて、感想を発表する。</p> <p>(7) お互いの考えた中から、吹き出しを選んで書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ A児には、相手に伝わるように、3の速さを意識して話せるように、表を確認する。 ・ B児には、大きい声で、最後まで言えるように声がけをする。 ・ 自分の考えと同じところや違うところに気をつけて聞くように促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のいいところを見つけて、感想を言うことができるように声がけをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ A児には、ていねいな字で書くように励ます。 ・ B児には、速く書けるように励ます。 	<p>吹き出しシート</p>
<p>お わ り 5 分 ペ ア</p>	<p>7 次時の活動内容を確認する。</p> <p>8 あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時でのがんばりを認め、次時への意欲づけを図る。 	

(4) 評価

- ・ 給食のお話の内容を理解することができたか。
- ・ でんでん丸くんに、自分の考えたことを伝えることができたか。

